

# 母校に60万円寄付へ

## 昭和41年卒 還暦を記念、96名が参加



団塊世代の主力部隊であるわれわれもいよいよ還暦を迎えることになり、それを記念した同期会を去る六月十六日(土)に開催しました。節目の年ということ、同

期生九十三名に三名の恩師も含め総勢九十六名の賑々しさになりました。これは過去の同期会に比べると一番の出席数でした。うち県外からの出席者も二十名おりました。

つどい

合わせて還暦の記念事業として母校への寄付を募っていたのですが、目標の六十万円に達するお金が集まったことも出席者に報告できました。四十年前の思い出話しと、

第二の人生の過ごし方という現実話しと、両方飛び交った中で盛会裏にお開きまで時間を過ごすことができました。(北嶋 正記)

## 年の数ほど 回を重ねて

### 三三三会女子「花咲みの会」

三三三会女子(二十五名卒業し二名亡くなられた)の会を「花咲みの会」と名付けたのは還暦を記した平成十二年。最初は年数回だったが、今は年間計画に従って当番を決め、ほぼ毎月実施している。

山、花に詳しい人もいて木々のそよぎの中に出かけることが多い。男鹿の福寿草、鳥海山麓の湿原、八幡平大谷地、駒ヶ岳森吉山、中島台等々、合羽、長靴、ハイキングシューズが制服だ。年に一度は泊で県外の人も

山、花に詳しい人もいて木々のそよぎの中に出かけることが多い。男鹿の福寿草、鳥海山麓の湿原、八幡平大谷地、駒ヶ岳森吉山、中島台等々、合羽、長靴、ハイキングシューズ

福島県・阿多羅で



## 「つどい」の編集方針について (お知らせとお願い)

- 一、「つどい」の記事は写真を中心にして、説明文はなるべく短くして下さい。
- 二、説明文や出席者名簿などの取り扱いは、編集委員会(広報委員)にお任せ下さい。
- 三、締切に間に合った原稿はできるだけ全部掲載するように努めますが、「つどい」の寄稿は毎回数が多く、編集の都合上次に号に回すこともあり、夏月号は六月上旬、新年号は十一月下旬となっております。

参加して賑やかだ。十和田、八幡平、白神、阿多羅、玉川……今年の一泊は筑波山を計画しているが楽しみだ。街で「お食事」は忘年会と年間計画を立てる時ぐらい、いざれ歩くのが大儀になるだろうが、街での会食はできるだけ先延ばしにしたい。(高橋絢子記・写真も)